

点 検 項 目

点 検 内 容

## 多重無線装置 保守点検報告書

(7GHz多重無線装置)				点検者		天候	
局名		方向		点検年月日			
型式	TRP-7.5GD6MB-301A	製造番号		製造年月			
項目	点検内容 (規格/測定値)						結果
1. 清掃、外観点検	1) 機器の清掃						実施・未実施
	2) 機器の各部形状に異常のないこと						良・否
	3) コネクタ、ネジ類の緩みがないこと						良・否
	4) 図書類が整理・保管されていること						良・否
	5) 鉄塔(空中線)に著しい異常のないこと						良・否
2. 送信周波数 指定周波数 MHz	周波数安定度 ±20×10 <sup>-6</sup> 以内	No. 1		No. 2		良・否	
		MHz ×10 <sup>-6</sup>		MHz ×10 <sup>-6</sup>			
3. 送信出力 指定出力 dBm	指定出力 ±50%以内	No. 1		No. 2		良・否	
		dBm		dBm			
4. 受信局発周波数 指定周波数 MHz	周波数安定度 ±20×10 <sup>-6</sup> 以内	No. 1		No. 2		良・否	
		MHz ×10 <sup>-6</sup>		MHz ×10 <sup>-6</sup>			
5. AGC校正曲線	別紙-1						良・否
6. 受信入力電界	AGC校正曲線による	No. 1		No. 2		良・否	
		dBm		dBm			
7. 符号誤り率	1×10 <sup>-4</sup> のとき 受信入力-91.0dBm以下 別紙-2	No. 1		No. 2		良・否	
		dBm		dBm			
8. 警報切替試験	1) 擬似障害にて警報送出すること 2) 遠隔制御できること 3) LED表示部動作に異常ないこと						良・否
9. 各部電圧電流値	項目	標準値		No. 1	No. 2	良・否	
		参考値					
	① TX PWR	AGC校正曲線					
	② AGC V	-4.0V ~ -10.0V					
	③ TX APC V	-4.0V ~ -10.0V					
	④ RX APC V	0.0 ~ +0.5V					
	⑤ BIT TIM	+5.2V ~ +5.4V					
	⑥ PS (+5.3V)	+3.5V ~ +3.7V					
	⑦ PS (+3.6V)	-5.2V ~ -5.4V					
	⑧ PS (-5.3V)	+7.8V ~ +8.2V					
	⑨ PS (+8V)	-14.7V ~ -15.3V					
	⑩ PS (-15V)	+9.8V ~ +10.2V					
⑪ FET V	入力電圧 ±10%						
⑫ LINE V							
10. 伝搬路障害物確認	設置位置から見通し内における将来伝搬路障害と危惧される建造物・立木等がないこと						良・否
11. 所見	----- ----- -----						

## 複合型多重端局装置 保守点検報告書

設置場所：

製造番号：

製造年月：

SDMPRO-MX

点検年月日
点検者

No.	測定項目	測定細目	判定基準	判定
1	表示確認	障害表示 (装置架上LED及び各パッケージの前面LED)の有無を目視で確認する。	有・無	
		スイッチ      POW ON、他はAUTO	良・否	
		ランプ      POW・ACT点灯、ALM消灯		
		ヒューズ      前面に白点が見えないこと		
		その他      外観に不具合がないこと		
データベース確認	DB比較      SCTとDB比較し、一致している事を確認			
2	クロック従属点検	装置クロック部の障害表示の有無を目視で確認する。	有・無	
3	装置警報履歴の収集確認	保守操作部の時計機能により警報履歴を出力し、収集及び分析をする。回線運用に問題となる内容が出力されていないか確認する。	有・無	
4	電圧の確認	装置自蔵の電圧測定器またはテストにて、基準値内であることを確認する。	良・否 (別紙-1参照)	
5	時計機能の確認	保守操作部の時計表示を確認し、基準時間内であることを確認する。基準時間の±30秒以内であること。	良・否	
6	警報動作試験	警報試験機能により試験的に警報を送出させ、外部監視装置 (リコン等)で監視項目が表示されることを確認する。	良・否	
7	保守コンソール	監視表示・切替操作・保守コマンドを実施し、動作に異常がないことを確認する。	良・否	
		プリンタ動作テスト (プリンタの自己印字テストにより実施する。)	良・否	
8	接続部の確認	プラグ      同軸プラグ・C-1Pプラグ (いずれも全数) 完全実装	良・否	
		架前面      ケーブルが固定されていること	良・否	
9	冗長系動作確認	SWが正常に切り替わることを確認する。	良・否	
		SW切替後に通信に異常がないことを確認する。	良・否	
10	機器本体の清掃	装置外面の清掃及び装置外面の取付状態の確認をする。	済・否	
11	図書・予備品類の点検	図書類が整理・保管されていることを確認する。	良・否	
		予備品類の保管状態・数量等を確認する。	良・否	

<備考>

# 遠方監視制御装置 点検結果報告書

局 名							
装置名		点 検 年 月					
製造年月		点 検 者					
製造番号							
	項 目	点 検 内 容					
1	表示確認	監視項目を入力し、本体にて発生／復旧を確認出来ること。					
2	入力電圧測定	<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">基 準 値</td> <td style="text-align: center;">測 定 値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">DC-24V±10%</td> <td style="text-align: center;">V</td> </tr> </table>		基 準 値	測 定 値	DC-24V±10%	V
基 準 値	測 定 値						
DC-24V±10%	V						
3	監視/制御動作確認	監視項目を入力し、監視制御卓で発生／復旧を確認出来ること。 監視制御卓より制御を実行し、制御出力を確認出来ること。					
4	時計機能確認	本体の日付、時刻に間違いがないことを確認する。					
5	接続部点検	ケーブル接続状態の確認を行う。					
6	機器清掃	装置内外面の清掃を行う。					
7	図書類の確認	図書類が整理・保管されていることを確認する。					
< 備 考 >							

点検項目

装 置	仕 様 書 項 目	対 象	備 考
総合点検	運用者からの確認及び報告等	実施	
	自蔵計器による確認	実施	
	切替動作及び警報試験の確認	実施	
	伝播路の見通し確認	実施	
多重無線装置	表示の確認	実施	
	送信出力の確認	実施	
	送信周波数の確認	実施	
	送信波スペクトラムの確認	実施	定期検査時
	スプリアス輻射強度の確認	実施	
	受信部局発信周波数の確認	実施	
	符号誤り率測定（自局折り返しによる）	実施	
	受信入力校正カーブの測定	実施	
	無線中継区間符号誤り率の確認	実施	定期検査時
	空中線の外観確認	実施	
	空中線レドームの確認	実施	
	給電線の確認	実施	
	導波管接続部の確認	実施	
	接続部の確認	実施	
	機器本体の清掃等	実施	
図書類・予備品等の確認	実施		
端局装置	表示の確認	実施	
	クロック従属点検	実施	
	装置警報履歴の収集確認	実施	
	電圧等の確認	実施	
	時計機能の確認	実施	
	保守コンソールの確認	実施	
	接続部の確認	実施	
	機器本体の清掃等	実施	
	図書類・予備品等の確認	実施	
遠方監視制御装置 監視制御装置	表示の確認	実施	
	電源電圧の確認	実施	
	送受信レベルの確認	実施	定期検査時
	監視制御動作の確認	実施	
	接続部の確認	実施	
	機器本体の清掃等	実施	
	図書類・予備品等の確認	実施	
端末装置 WS/PC	電圧等の確認	実施	
	電池の確認（交換）	実施	定期検査時
	ハードディスクの確認	実施	
	動作確認	実施	
	接続部の確認	実施	
	イベントログの確認	実施	
	機器本体の清掃等	実施	
デハイドレータ	表示の確認	実施	
	外観の確認	実施	
	モータ動作及び乾燥剤の確認	実施	
	接続部の確認	実施	
	使用状態の確認	実施	
端末装置 LAN	電池の確認（交換）	実施	
	接続部の確認	実施	
	機器の清掃等	実施	
	ファン、フィルターの清掃	実施	
	機器据付確認	実施	